家政経済学科 AP

家政経済学科は、生活の様々な現状を経済学、家政学、経営学、政治学などの社会科学の手法を使って幅広く学ぶ学科である。専門の学びを通じて、複雑化する様々な社会的課題や経済的課題の解決方法を探り、学んだ知識を行動に生かし、持続可能な社会の構築に貢献できる人物を育成することを目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】

・生活をめぐる様々な社会的課題や経済的課題に興味・関心を持つ人
・経済学、家政学、経営学、政治学などの社会科学の領域に関心を持ち、幅広く学びながら自分の学びの中心となる学問領域を見つけていこうとする探求心のある人
・幅広い視野を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ人
・社会科学的な知識や考え方を身につけ、多様な立場の人々の幸せや持続可能な社会の構築に貢献したいと望む人

【高等学校段階までに修得すべき学力】

・国語や数学、地理歴史、公民に関する一定の基礎学力
・英語を読み取り理解する基礎力
・物事を論理的に把握し分析する基礎的な読解力および論理的思考力
・自分の意見を適切な表現で他者に伝える基礎的な表現力
・他者の意見に耳を傾け、目的達成のために協働して物事に取り組む力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

筆記試験により、外国語（英語）に加え国語・地理歴史・数学における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）
　英語外部試験を利用して英語の４技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により、国語に加え地理歴史・数学の基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力を加味しながら判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型））
　大学入学共通テストの国語、外国語、地理歴史・公民または数学の計３科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期５科目型））
大学入学共通テストの国語、外国語、数学、理科、地理歴史・公民のうち１科目、の計５科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（後期））
　大学入学共通テストの外国語に加え国語・地理歴史・公民・数学の中から選択した２教科２科目の計 3 科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

(2) 総合型選抜
　総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および自己推薦書を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。第二次選考では、適性検査（筆記試験）にて生活問題や経済問題に関する資料を理解し、それと関連づけながら自らの意見を発信する能力があるかどうかを見る。さらに、プレゼンテーション・質疑応答ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜
　高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）

日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（指定校制／連携校）

本学科が指定する高等学校（指定校／連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験（口述試験）によって総合的に判定する。

(4) 外国人留学生

日本留学試験の「日本語」「総合科目」の２科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかを判定する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および社会的課題や経済的課題に関して興味・関心を持ち、自らの意見を発信する能力があるかどうかを審査し総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、社会的課題や経済的課題に関する小論文を課し、大学２年次もしくは３年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、英語に関する十分な知識および社会的課題や経済的課題に関して興味・関心を持ち、自らの意見を発信する能力があるかどうかを審査し総合的に判定する。